

児童発達支援自己評価表（30年きっず）

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○	・午後の子どもが多く激しく動いて遊んでいると狭さのあまり危険なことがありますので怪我のないよう気を配っています。 ・子ども10人に対し大人6人配置する等、遊具の危険性やリスクを考えて見守る場所など配慮していくと狭さを感じる事がある。 ・人数に対してもう少し広いと良いと思います。のびのび遊べたり怪我の防止にもつながると思うのでもう少し余裕を持ったスペースになると	・部屋を広くするなど活動環境構成を見直していきたいと思います。
	② 職員の配置数は適切であるか		○	・スタッフの休み等で、人員が少ないこともあります。皆で助け合いながら乗り切っています。 ・体調不調等で、突然スタッフが減った時に余裕の無さを感じます。 ・常勤スタッフは朝から夕方までの一日サイクルの療育の他に各自もっている仕事の業務の時間の確保が難しいです。	・新年度はスタッフの人数を増やします。その中でみんなで力を合わせて子ども達の成長を促していきたいと思います。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○	・窓や戸の開閉に気になる所があります。	・今後は修理する箇所などチェックしながら定期的に修繕していきたいと思います。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか		○	・毎日の掃除、夕方の洗濯等、清潔にしています。 ・設備が古い部分があり、工夫し活動するようにはしているが、もう少し改善したいと思う部分はあります。 ・掃除は毎日していますが、スペースが狭く活動が制限されることもあります。	・今後は修理する箇所などチェックしながら定期的に修繕していきたいと思います。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○	・スタッフミーティングで話し合いができています。	・毎週金曜日に会議を行っています。そこで出てきた提案からどのようにしていくと成り立っていくのか、みんなで取り組みながら修正していき構築しています。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		・業務改善に努めています。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		○		・ホームページで評価の結果をお知らせしています。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	・見学に来られる方（同業者）から評価をいただき所長からスタッフに伝えられています。	・地域支援や講演会の講師の方に実際に子ども達を見てもらいアドバイスをもらい日々の療育に生かしています。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○	・研修だけでなく、研究会もあり確保できています。	・法人全体研修や研究会、委員会など法人内で行う研修の他に外部の研修に参加する等日々の療育に生かせるように勉強をしています。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか		○	・担当者が作成し、保護者様にお渡しする前に必ずスタッフも目を通して確認しています。	・児童発達支援計画の目標が達成されるように、さらにその目標を掘り下げて月目標（全体目標、感覚統合目標）を立て、月目標が達成できるように日々の目標も立て、その目標を意識しながら関わっていく事で子ども達の発達を促しています。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		・利用しており、療育に活かしています。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか		○		・具体的な支援計画がある事で子どもの気になる事を共有しています。さらに子どもの将来について話す事ができるので、その為には今何が出来るのか、必要なかを話し合い支援計画に反映しています。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか		○	・どのような支援が望ましいか、話し合いをしています。	・毎週金曜日に会議を行い情報共有、確認を行っています。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか		○	・OTが作成し、その内容をスタッフに相談する場面もあります。 ・立案は主にOTが行うが、スタッフの提案等も柔軟に受け入れ反映してくれるためありがたいです。	・年間、月案、週案、日案があり、さらに活動ごとの計画を立て毎日のプログラムを決めて活動しています。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○	・OTが作成し、その内容をスタッフに相談する場面もあります。	・毎日のプログラムの中で更に遊びや活動を展開していき発達を促しています。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか		○		・状況、発達をみながら児童発達支援計画を作成しています。
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○	・注意すべき点、気を付けて見ていきたい点等その都度確認しています。 ・毎週金曜日のケース会議。もしくは前日等に振り返りであった事を朝送迎に入っていないスタッフで打ち合わせする事もあります。 ・直行直帰のスタッフもいる為、全員で必ずという点では難しいです。	・支援の内容や役割分担は事前に会議時には話し合い打ち合わせをします。また当日の変更と等についてはスタッフ間で共有して活動を進めています。
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○	・日誌を書く時間に情報共有と振り返りを行っているが、送迎時間が遅くなってきたので、時間確保が難しいときもあります。	・時間の無い時は会議の時に共有する事が多いです。
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○	・日誌を元に月目標を決めたり反省しています。	・支援の検証、改善につながるように仕事のサイクルができているので今後も継続して取り組んでいきたいと思っています。
⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか		○		・中間評価、個人懇談、参観日などご家庭と子どもの育ちを共有しながら支援計画の見直しをしています。	
関係機関や保護者との連携	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		・調整会議等に所長や担当者が参加し情報を共有しています。
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか		○		・お互いに連携を取りながら情報共有をし支え合う体制が取れるようにしています。
	㉓（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	㉔（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	㉕ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○	・全保育園、幼稚園と年1回や半年に1回の調整会議ができればいいと思う。情報共有できる所とできてない所があります。	・保育所等訪問支援などを通して情報共有や支援の方向性、役割分担の整理等、相互理解を図っています。

関係機関や保護者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	○	・支援計画終了時評価、SI評価、引継ぎ書の3点は必ず毎年小学校に入学する時にご家庭に渡し、小学校に提出してもらえるようにしています。	・引継ぎ書は必ず小学校に届くようにしています。小学部放課後等ディサービスがあり一緒に小学校等と支援内容等の情報共有と相互理解を図っています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	○		・地域支援でアドバイスをもらったり、地域の研修に参加するなど地域資源と連携がとれるようにしています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○	○		・保育園や認定こども園、幼稚園に行っている子が多いことや、普段の環境で関わっているため療育には取り入れていません。
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○	○		・会議は所長が参加しています。子ども部会主催の研修などにはスタッフも参加しています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	○		・子ども一人ひとりに家庭との連携ノートで療育での様子やご家庭での様子、困りごとへの相談にのるなどやり取りをしています。また送迎時に活動での様子をお伝えするなど共通理解を持てるようにしています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○	○	・本人の特徴説明やお母さんと話すことで、お母さんの悩みがみえてきてその時その状況に合わせて対応しています。	・お家で出来る事などアドバイスをさせてもらうことはあります。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	○		・契約時に重要事項説明書や契約書にて説明をしています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○	○	・お渡しする際に保護者に説明し署名を頂いています。	・保護者の方が理解しやすいように一人ひとりに合わせイメージが持てるように伝えていきたいと思います。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	○	・必要に応じてスタッフ間でも情報共有し支援しています。	・個人懇談やノートでのやり取りなどから困りごとを伝えやすい環境作りに配慮しています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	○	・行事等で保護者間の繋がりを持っています。	・茶話会や法人内での父母会などで交流が持てるようにしています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	○	・必要に応じてスタッフ間でも情報共有し支援しています。	・迅速かつ適切に対応できるようにスタッフ間で連携をとりながら対応しています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	○	・会報誌にて発信できていると思います。	・毎月発行のどろんこだよりや会報などで行事予定や各事業所での活動の様子をお伝えしています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○	○		・個人情報取り扱いについて保護者に同意を得て幼稚園、保育園と情報を共有しています。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	○		・ご家庭に合わせて配慮しています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	○		・小西先生の講演会に地域の関係機関の方々を招待し学んでいます。
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○	○	・マニュアルは見れる所に置いてあります。 ・法人内に委員会がありますが、まだあがってきていないものがあります。 ・春(毎年)に避難訓練は行っています。
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	○	○	・避難訓練を行っていますが充分とはいえないと思います。 ・訓練は年に一度行っているが、年に二回はやってもいいのではと思います。	・年長児のみ避難訓練を行っていましたが、新年度からは各曜日でも避難訓練を行う予定です。
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○	○		・情報共有しています。
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	○	・お母さんからの指示にて対応している(医師→母) ・お家の方から聞いて対応しています	・契約時の聞き取りでアレルギー対応を保護者の方と話し合いながら進めています。
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	○		・会議の際には情報共有を図っています。
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	○	・研修が行われている。 ・マニュアルの再整備を行ったり、委員会のメンバーで外部虐待防止研修に参加している。	・虐待防止委員会を法人内に設置しています。毎年、研修を行っていく予定です。
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○	○	・まだ身体拘束の子はいませんが、今後やむおえない場合が出てくる時に支援計画に記載していく。	・今後やむおえない場合が出てきた場合は保護者と相談しながら支援計画に記載しスタッフ間で支援の方向性を共有していきます。